

研修・研究・会議費

小計 129,000 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

ワンマス用紙

領 収 書

No.922202

松岡 みゆき 様

(金額)

¥3,000*****

『明日への選択』地方議員ネットワーク年会費として

平成29年2月10日 上記正に領収致しました

『明日への選択』地方議員ネットワーク



- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

資料購入費	頁小計	円	備考	日本政策研究センター 資料説明
-------	-----	---	----	--------------------

日本政策研究センターは、その趣旨に賛同する会員による「会費」が主な経営基盤になっております。会費は以下のような種別になっております。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

【ご入会案内】

あなたも会員に！

● 購読会員 …… 年間7,000円

『明日への選択』を年間購読して下さっている会員です。

● ネットワーク会員 …… 年間10,000円

『明日への選択』年間購読とともに、運動のためにさらに3,000円を出資して下さっている会員です。この方々には年4回、運動紹介のための冊子「ネットワーク・ニュース」をお送りしています。

※地方議員の方には、『明日への選択』地方議員ネットワークへのご入会をお勧めしています（購読料を含め年会費10,000円）。

● 維持会員 …… 年間20,000円以上

当センターをもっと資金面で積極的に支えたいと考えて下さる会員です。この方々には以上の出版物とともに、その時々々の運動課題や運動情報を伝えるFAX情報（不定期）が送られます。

● 特別維持会員

当センターと一心同体、ともに歩んでいこうと考えて下さる会員です。この方々には当センター発行の各種ブックレットご購入の際には「特別割引き」があります。特別維持会員には次の各種類があります。

A 年間20万円

B 年間12万円（月1万円）

C 年間6万円（月5,000円）



日本政策研究センターのホームページは、その時々々の出来事、事件などに対する最新の見解を毎週掲載しています。同時に、既刊論文などをもとにしたテーマごとのデータベースも備えています。リアルタイムに当センターの考えをお知らせするとともに、手軽に全体像も知ることができ、好評をいただいております。また、このホームページから『明日への選択』のお申し込みやブックレットの購入などもできます。一度ご覧下さい。

なお、YAHOO!などの検索エンジンで「日本政策研究センター」を検索していただくと、当センターのホームページを簡単に見つけられます。

<http://www.seisaku-center.net/>

日本政策研究センター 東京都千代田区飯田橋2-1-2 葛西ビル302 (〒102-0072)
Tel 03-5211-5231 Fax 03-5211-5225
Mail contact_us@seisaku-center.net

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	28000 000 円	備考
-----------	-----	---------------------------	----

領 収 証

No. 150

自由民主党会派 殿

金額	¥	2	5	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---

但しスポーツ観光型地域振興の戦略と方策セミナー参加費

上記金額正に領収いたしました

2017年2月9日

〒102-0082 東京都千代田区千代田 6-4
 TEL03 (3234) 1231 FAX03 (3234) 4993 ライオンズ第2
 株式会社 地域科学研究会
 代表取締役 緑川富美雄

領 収 書

No. _____

自由民主党会派 御中

2017年2月23日

金額 ¥ 3,000.- (消費税込)

収入
印紙
(非課税)

但 JEPaセミナー:「教育ICT:イギリス最新動向 2017」
 参加費として、上記正に領収いたしました。

一般社団法人 日本電学出版協会  since 1986
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-2
 東京歯科大学南棟(旧鶴屋総合ビル)4F
 Tel:03-3556-5224 Fax:03-3556-5259

内 訳

税抜金額	_____
消費税額(%)	_____

＜地域科学研究会＞まちづくり行政シリーズ84

—スポーツ都市戦略による地域経済・コミュニティの活性化

スポーツ観光型地域振興の戦略と方策

～スポーツ庁の取組みと観光・健康・交流まちづくり—スポーツ施設・地域資源の活用方策～

【講師陣】

- | | | | |
|----|----|---|---------------------------|
| 原田 | 宗彦 | 氏 | ／早稲田大学スポーツ科学学術院教授 |
| 仙台 | 光仁 | 氏 | ／文部科学省スポーツ庁参事官(地域振興担当) |
| 小池 | 正浩 | 氏 | ／特別非営利活動法人掛川市体育協会クラブマネジャー |
| 久野 | 幸信 | 氏 | ／大府市健康文化部長 |

日 時：2017年2月9日(木) 10:00～16:50

会 場：日本教育会館(東京・千代田区)

あすの街と村を考える
地域科学研究会

TEL：03-3234-1231 FAX：03-3234-4993
URL：<http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

※本資料の全部、または一部の無断使用・転載を禁じます。

2017年2月23日 教育 ICT : イギリス最新動向 2017

2017.02.22

日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC) の海外調査部会では、昨年度のアメリカ合衆国の訪問調査に続き、今年度はイングランドを対象として、教育におけるテクノロジー活用状況を調査しています。

イングランドの公教育では、学校や学校長の裁量が大きく、授業の編成や教え方にさまざまな工夫がされる一方、一定の基準に従った学校評価が公的に行なわれ、教育の質を担保しています。生徒個々に関する多くのデータを蓄積、分析して学校の自己評価を行うためのシステムである RAISEonline は、来年度から日本でも始まる校務系と学習系のデータ連携の実証事業であるスマートスクール構想に大いに参考になるはずです。また、イングランドでは 2014 年から全小学校で新教科 Computing が開始されており、これも 2020 年に予定されている日本におけるプログラミング教育導入の先行事例と言えます。

世界最大級の教育と ICT の展示会である BETT の様子と合わせ、最新のイギリスの動向をご紹介します。

- * イングランドの教育制度
- * 公教育におけるデータ活用と RAISEonline
- * 新教科 Computing の内容と教材、進め方

* BETT の展示に見る最新のトレンド

* 見学したロンドンの学校の様子

昨年の「教育 ICT : アメリカ最新動向 2016」資料と講演映像

■ 講師 石坂芳実 (いしざか よしみ) 氏 【⇒配布資料】

・ ICT CONNECT 21 事務局 技術標準化 WG 担当

・ 早稲田大学大学院公共経営研究科修了 Master of Public Management

・ 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC) 教育コンテンツの形態と流通に関する調査研究プ

ロジェクトサブリーダー、海外調査部会メンバー

・ 元東京農工大学総合情報メディアセンター客員准教授

マイクロソフトで約 20 年間、ソフトウェア開発に従事。Microsoft Encarta など教育向け

のソフトウェアやサービスの研究開発に携わる。当時所属していた Education Product

Group が、Intel, Cisco と共に教育改革に関するメッセージを公表し、それが 21 世紀型ス

キルの定義と測定法を研究する ATC21S 設立のきっかけになる。

■ 講師 中駄康博 (なかだ やすひろ) 氏 【⇒配布資料】

・ 富士ソフト株式会社 みらいスクール事業部 次長

・ 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC) 海外調査部会 部会長、

スマホ・タブレット時代の新たな学習環境に関する調査研究プロジェクト サブリーダー

日立ソリューションズで約 13 年間、電子黒板事業に従事。この間米国、欧州、中東、アジア、オセアニアで 電子黒板事業を展開。その後デジタル教科書事業を起こし、CoNETS 結成に繋がる。2015 年富士ソフト株式会社へ転職。

日時：2月23日(木) 15:00-17:30

料金：JEPA 会員社：無料、非会員社：3000 円

会場：飯田橋 研究社英語センター B2F 大会議室

主催：日本電子出版協会(JEPA)

参加：122 名

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	30,000 円	備考
-----------	-----	----------	----

領 収 証

自民党会派 様 28年8月1日

★ ￥15,000

但「決算カードフル活用」
8/1 10:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3
TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

自民党会派 様 28年8月1日

★ ￥15,000

但「自治体予算を効果的に見る方法」
8/1 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3
TEL 06 (7878) 6297



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	30,000 円	備考	
-----------	-----	----------	----	--

領 収 証

自民党会派様 28年8月2日

★ ￥15,000

但「財政比較分析表であなたの自治体をチェック」
8/2 10:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F.7-3
TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

自民党会派様 28年8月2日

★ ￥15,000

但「地方版総合戦略と自治体財政」
8/2 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目1-3-23F.7-3
TEL 06 (7878) 6297





かわもと たつし
川本 達志 元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。

8月1日(月)

10:00~12:30

決算カードフル活用

参加自治体それぞれの決算カードを配布、解説

- ・自治体決算の基礎知識
- ・健全化判断比率の見方
- ・類似団体との比較方法
- ・自分の自治体の指標を再確認
- ・フローとストックから見る健全度
- ・客観的な財政状況をみるために必要なこと
- ・自分の自治体の財政チェック
- ・決算審査を見える化する

14:00~16:30

自治体予算を効果的に見る方法

- ・国の予算と地方財政計画
- ・財政課題の指摘のポイント
- ・事業シートの効果的な活用方法
- ・交付税制度と臨時財政対策債
- ・経費(人件費や補助費など)の着目点
- ・予算編成は一般財源でコントロールされる

8月2日(火)

10:00~12:30

財政比較分析表であなたの自治体をチェック

参加自治体それぞれの財政状況資料集を配布、解説

- ・財政は今後どうなっていくのか
- ・財政は比較することで理解が進む
- ・財政を押さえるのは自治体議員の基本

14:00~16:30

地方版総合戦略と自治体財政

- ・消滅可能性都市のウソ?ホント?
- ・まち、ひと、しごと創生総合戦略との関連
- ・地方人口ビジョンと自治体
- ・夕張問題から何を学ぶか

「財政診断、財政分析を学びます」

元副市長が教える
自治体財政
集中研修会

in 東京

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	10:00 ~ 12:30	14:00 ~ 16:30
8月1日(月)	<input type="checkbox"/> 決算カードフル活用	<input type="checkbox"/> 自治体予算を効果的に見る方法
8月2日(火)	<input type="checkbox"/> 財政比較分析表であなたの自治体をチェック	<input type="checkbox"/> 地方版総合戦略と自治体財政

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
ご住所	(〒 -)		
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		

開催場所

アットビジネスセンター
東京駅八重洲通り

[4講座同場所] 〒104-0032 東京都中央区
八丁堀1-9-8八重洲通りハタビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp



JR東京駅(八重洲口)より徒歩約10分
日比谷線 八丁堀駅より徒歩2分

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

30,000 円

備考

領 収 証

自由民主党 様 28年8月8日

★ ￥15,000

但「わがまちで地域包括ケアを実現するためには」
8/8 10:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

自由民主党 様 28年8月8日

★ ￥15,000

但「人口減少社会における持続可能な医療・介護を考える」
8/8 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297



人口減少時代の

医療

・
介護
を
考
え
る

in東京

8月8日^月

10:00～12:30

わがまちで 地域包括ケアを 実現するためには

- ・なぜ地域包括ケアが必要か
- ・社会保障・税一体改革とは何か
- ・2025年に向け医療改革はどう進むか
- ・わがまちで地域包括ケアを実現するために何が必要か

14:00～16:30

人口減少社会における 持続可能な 医療・介護を考える

- ・これから都市・地方に起きる深刻な医師・看護師・介護士等の不足
- ・医師・看護師・介護士等不足の原因は何か
- ・自治体における医療・介護の命運を握る「人材育成」の重要性
- ・地域医療再生における地方議会議員の役割

8月9日^火

10:00～12:30

目からウロコの 自治体病院経営

～生き残りのためには何が必要か

- ・新しい公立病院改革ガイドラインの意義
- ・病院経営のトレンドの変化「小売業からサービス業へ」
- ・病院再編・地方独法・指定管理者制度導入で注意すること
- ・自治体病院経営に対して地方議会議員の質問のあるべき姿とは

14:00～16:30

議会質問に使える ～自治体病院の 指標を学ぶ

- ・地方公営企業年鑑など、どのようにして自治体病院の指標を入手するか
- ・指標の意義と数値の相場観をつかむ
- ・新しい病院経営の評価ツールとしてのDPCの意義
- ・入手したデータを使いどのように質問をするか(議会質問虎の巻)

いせき ともとし
伊関 友伸

研究テーマは、行政評価、地域医療問題、保健・医療・福祉のマネジメント。2006年8月から2007年3月まで、夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わる。兵庫県丹波市の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動の支援も行っている。総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会など、数多くの国・地方自治体の委員等をつとめる。全国市長会機関誌「市政」に「スクレピオスの杖を探して 地域医療再生への道」を連載中。

略歴 東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究所修士課程修了。1987年埼玉県入庁(県民部県民総務課調査係)、北埼玉郡大利根町企画財政課長(県派遣)、総合政策部計画調整課主査(計画フレーム担当)、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター総務職員担当主幹、2004年城西大学経営学部マネジメント総合学科助教授、2010年同教授。医学書院「病院」編集委員。



↑ FAX 06-7878-6308 ↑

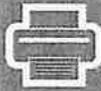
お申込みは ☎ FAX または ✉ メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ☑チェックください。

8月8日(月)

8月9日(火)

10:00
?
12:30

わがまちで地域包括ケアを
実現するためには

目からウロコの自治体病院経営
～生き残りのためには何が必要か

14:00
?
16:30

人口減少社会における
持続可能な医療・介護を考える

議会質問に使える
～自治体病院の指標を学ぶ

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期日)
ご住所	(〒 -)		
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		

開催
場所

アットビジネスセンター
東京駅八重洲通り

[4講座同場所] 〒104-0032 東京都中央区
八丁堀1-9-8八重洲通りハタビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp



JR東京駅(八重洲口)より徒歩約10分
日比谷線 八丁堀駅より徒歩2分

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	4,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

領 収 書

市川 勝斗 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年 5月 12日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目1番15号
 氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
 会 長 久 保 田 義 則



自由民主党 領 収 書

岩瀬 和子 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年 5月 12日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目1番15号
 氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
 会 長 久 保 田 義 則



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	4,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

領 収 書

自由民主党
小田 英男 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年5月17日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目1番15号
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 久 保 田 義 則

領 収 書

自由民主党
松岡 みゆき 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、平成28年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

平成28年5月12日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目1番15号
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 久 保 田 義 則

(案)

平成28年度

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

総 会

日 時 平成28年5月27日 (金)

午後4時から

会 場 相模原市立産業会館

総 会 次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議長選出

4 議 案

議案第1号 平成27年度活動報告について

議案第2号 平成27年度収支報告及び監査報告について

議案第3号 会則の一部改正について

議案第4号 役員の改選について

議案第5号 平成28年度活動計画について

議案第6号 平成28年度収支予算について

議案第7号 決議について

5 来賓あいさつ及び紹介

6 閉 会

平成27年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
5月11日	第1回役員会 ・ 会員・役員の様況及び顧問の就任について ・ 平成27年度総会の開催について	
5月25日	総会 ・ 平成26年度活動報告について ・ 平成26年度収支報告及び監査報告について ・ 役員を選任について ・ 平成27年度活動計画について ・ 平成27年度収支予算について ・ 決議について	愛川町文化会館 ホール
8月31日	要望活動	国土交通大臣 東京都知事
10月13日	第2回役員会 ・ 平成27年度総会結果について ・ 平成27年度要望活動について ・ 役員・会員の状況について	
11月2日	要望活動	国土交通省関東運輸局 小田急電鉄(株)
2月4日	要望活動	神奈川県知事
3月31日	第3回役員会 ・ 平成27年度要望活動結果について ・ 平成28年度事業計画(案)について ・ 役員について	

平成27年度 収支報告

1 収入

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差 引 額 (B-A)	摘 要
1 会 費	246,000	246,000	0	2,000円×123人
2 繰越金	140,587	140,587	0	
3 諸収入	413	30	△383	
計	387,000	386,617	△383	

2 支出

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差 引 額 (A-B)	摘 要
1 事業推進費	350,000	280,639	69,361	
(1)会議費	100,000	96,611	3,389	総会及び役員会経費等 (会場、看板他)
(2)活動費	250,000	184,028	65,972	要望活動費等
2 事務費	30,000	39,754	△9,754	封筒作成等
3 予備費	7,000	0	7,000	
計	387,000	320,393	66,607	

3 差引

収入済額		支出済額		残額(繰越金)
386,617	-	320,393	=	66,224

平成28年度へ繰越し 66,224円

会計監査報告書

本議員連盟の平成27年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

平成28年5月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監査 川畑 一 隆 (印)

監査 森 繁 之 (印)

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則について

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則を次のように制定する。

平成28年5月27日提出

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会
会長 久保田 義則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を次のように改正する。

第5条第1項中第7項を第8号とし、第2号から第6号までを1号ずつ下げ、第1号の次に次の1号を加える。

(2) 会長代行 1名

第5条中第7項を第8項とし、第6項を第7項とし、第5項を第6項とし、同条第4項中「補佐し、会長が欠けた時又は会長に事故があるときはその職務を代行する」を「補佐する」に改め、同項を同条第5項とし、同条第3項の次に次の1項を加える。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき、又は会長の命を受けたときは、その職務を代行する。

附 則

この会則は、平成28年5月27日から施行する。

提案の理由

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟の事業における取組の充実を図るため、所要の改正を行うもの

○新旧対照表

改正前	改正後
<p>第5条 この会に次の役員を置く。</p> <p>(1) 会長 1名</p> <p>(2) 副会長 5名</p> <p>(3) 理事 若干名</p> <p>(4) 会計 1名</p> <p>(5) 監査 2名</p> <p>(6) 事務局長 1名</p> <p>(7) 事務局 4名</p> <p>2 <略></p> <p>3 会長は、会務を総括する。</p> <p>4 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けた時又は会長に事故あるときはその職務を代行する。</p> <p>5 監査は、この会の会計を監査する。</p> <p>6 事務局長は、会務を掌理する。</p> <p>7 事務局は、事務局長を補佐する。</p>	<p>第5条 この会に次の役員を置く。</p> <p>(1) 会長 1名</p> <p>(2) 会長代行 1名</p> <p>(3) 副会長 5名</p> <p>(4) 理事 若干名</p> <p>(5) 会計 1名</p> <p>(6) 監査 2名</p> <p>(7) 事務局長 1名</p> <p>(8) 事務局 4名</p> <p>2 <略></p> <p>3 会長は、会務を総括する。</p> <p>4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき及び会長の旨を受けたときは、その職務を代行する。</p> <p>5 副会長は、会長を補佐する。</p> <p>6 監査は、この会の会計を監査する。</p> <p>7 事務局長は、会務を掌理する。</p> <p>8 事務局は、事務局長を補佐する。</p>

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

(名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

(目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

(役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 会長代行 1名
- (3) 副会長 5名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 会 計 1名
- (6) 監 査 2名
- (7) 事務局長 1名
- (8) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき及び会長の旨を受けたときは、その職務を代行する。

5 副会長は、会長を補佐する。

6 監査は、この会の会計を監査する。

7 事務局長は、会務を掌理する。

8 事務局は、事務局長を補佐する。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額 2,000 円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。

但し、平成 21 年度においては、平成 21 年 11 月 4 日より翌年 3 月 31 日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成 21 年 11 月 4 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 22 年 5 月 27 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 24 年 5 月 23 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 26 年 5 月 15 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 28 年 5 月 27 日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 役員名簿

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	久保田 義 則
会長代行	町田市議会議員	長 村 敏 明
副 会 長	町田市議会議員長	佐 藤 伸一郎
副 会 長	相模原市議会議員	岸 浪 孝 志
副 会 長	厚木市議会議員	松 田 則 康
副 会 長	愛川町議会議員長	小 島 総一郎
副 会 長	清川村議会議員	山 本 善 男
理 事	町田市議会議	_____
理 事	町田市議会議員	上 野 孝 典
理 事	町田市議会議員	河 辺 康太郎
理 事	相模原市議会議員長	阿 部 善 博
理 事	相模原市議会議員	山 岸 一 雄
理 事	相模原市議会議員	須 田 毅
理 事	相模原市議会議員	西 家 克 己
理 事	厚木市議会議員	釘 丸 久 子
理 事	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	愛川町議会議員	渡 辺 基
会 計	相模原市議会議員	米 山 定 克
監 査	町田市議会議員	川 畑 一 隆
監 査	相模原市議会議員	森 繁 之
事務局長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
事 務 局	町田市議会議員	藤 田 学
事 務 局	厚木市議会議員	井 上 武
事 務 局	愛川町議会議員	井 出 一 己
事 務 局	清川村議会議員	落 合 圈 二

平成28年度 活動計画（案）

- 1 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携を行う。
- 2 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動を行う。
- 3 広報活動その他目的達成に必要な事業を行う。

月 日	活 動 内 容	平成27年度実施状況
4月22日	第1回役員会	5月11日（月） 第1回役員会
5月16日	第2回役員会	
5月27日	平成28年度総会 【会場：相模原市産業会館】	5月25日（月） 平成27年度総会 【会場：愛川町文化会館】
総会以降	要望活動	8月31日（月） 国土交通省、東京都 11月 2日（月） 関東運輸局、小田急電鉄 2月 4日（木） 神奈川県
8～10月	第3回役員会	10月13日（火） 第2回役員会
3月下旬	第4回役員会	3月31日（木） 第3回役員会

平成28年度 収支予算(案)

1. 収入

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1 会 費	246,000	246,000	0	2,000円×123人
2 繰越金	66,224	140,587	△74,363	
3 諸収入	776	413	363	
計	313,000	387,000	△74,000	

2 支出

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1 事業推進費	300,000	350,000	△50,000	
(1) 会議費	100,000	100,000	0	総会及び役員会経費等
(2) 活動費	200,000	250,000	△50,000	要望活動費等
2 事務費	8,000	30,000	△22,000	事務用品費等
3 予備費	5,000	7,000	△2,000	
計	313,000	387,000	△74,000	

決 議 (案)

首都圏南西部の広域交通ネットワークの形成に資する小田急多摩線の延伸は、公共交通網の利便性が向上することはもとより、広域交流拠点都市の発展のため極めて重要な役割を担うものであり、JR横浜線相模原駅・JR相模線上溝駅、更には田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

去る4月20日に、交通政策審議会より国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申された。本議員連盟では、今回の答申に、小田急多摩線延伸のより実効性ある位置づけがなされるよう、設立当初から積極的な活動を展開してきたところである。

この度の答申においては、当連盟の活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、意義のある地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに選定されたところであり、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたことを認識している。

小田急多摩線を唐木田駅から愛川・厚木方面まで延伸させるためには、この答申において、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、愛川・厚木方面への延伸を検討することが適当とされていることから、まず上溝駅までの整備を実現させなければならず、これに向けては、相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを始めとする沿線開発の取組が重要である。町田市、相模原市においては、鉄道整備は経験したことのない一大プロジェクトとなるが、早期実現に向け、本議員連盟として最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、小田急多摩線の日も早い延伸が実現するよう、私たち議員連盟の会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

平成28年 5月27日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備につきましては、格別の御高配を賜り心から感謝申し上げます。

首都圏南西部の広域交通ネットワークの形成に資する小田急多摩線の延伸は、公共交通網の利便性が向上することはもとより、広域交流拠点都市の発展のため極めて重要な役割を担うものであり、JR横浜線相模原駅・JR相模線上溝駅、更には田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されています。

去る4月20日に、交通政策審議会より国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申されました。本議員連盟では、今回の答申に、小田急多摩線延伸のより実効性ある位置づけがなされるよう、設立当初から積極的な活動を展開してきたところです。

この度の答申においては、当連盟の活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、意義のある地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに選定されたところであり、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたことと認識しております。

小田急多摩線を唐木田駅から愛川・厚木方面まで延伸させるためには、この答申において、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、愛川・厚木方面への延伸を検討することが適当とされていることから、まず上溝駅までの整備を実現させなければならず、これに向けては、相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを始めとする沿線開発の取組が重要です。町田市、相模原市においては、鉄道整備は経験したことのない一大プロジェクトとなりますが、早期実現に向け、本議員連盟として最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、小田急多摩線の日も早い延伸が実現するよう、私たち議員連盟の会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めているところでございます。

つきましては、本連盟といたしましても、小田急多摩線延伸の早期実現を目指し、最大限の活動を展開いたしますので、地域住民の切実なる願いを叶うべく、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 久保田 義則

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	議会	氏名	会派
1	町田市議会議長	佐藤 伸一郎	自由民主党
2	町田市議会議員	大西 宣也	保守連合
3	町田市議会議員	吉田 勉	保守連合
4	町田市議会議員	長村 敏明	自由民主党
5	町田市議会議員	川畑 一隆	公明党
6	町田市議会議員	浅見 美子	公明党
7	町田市議会議員	上野 孝典	公明党
8	町田市議会議員	藤田 学	自由民主党
9	町田市議会議員	熊沢 礼里	自由民主党
10	町田市議会議員	若林 章喜	自由民主党
11	町田市議会議員	新井 克尚	保守連合
12	町田市議会議員	奥 栄一	公明党
13	町田市議会議員	三遊亭 らん丈	自由民主党
14	町田市議会議員	岩瀬 和子	自由民主党
15	町田市議会議員	山下 哲也	公明党
16	町田市議会議員	市川 勝斗	自由民主党
17	町田市議会議員	河辺 康太郎	まちだ市民クラブ
18	町田市議会議員	戸塚 正人	まちだ市民クラブ
19	町田市議会議員	松岡 みゆき	自由民主党
20	町田市議会議員	渡辺 巖太郎	自由民主党
21	町田市議会議員	白川 哲也	保守連合
22	町田市議会議員	森本 誠也	まちだ市民クラブ
23	町田市議会議員	石川 好忠	自由民主党
24	町田市議会議員	松葉 祐巳	公明党
25	町田市議会議員	木目田 英男	自由民主党
26	町田市議会議員	小関 重太郎	まちだ市民クラブ
27	相模原市議会議長	阿部 善博	自由民主党相模原市議団
28	相模原市議会副議長	大沢 洋子	民進党・市民クラブ
29	相模原市議会議員	山岸 一雄	自由民主党相模原市議団
30	相模原市議会議員	長友 義樹	颯爽の会
31	相模原市議会議員	久保田 義則	自由民主党相模原市議団
32	相模原市議会議員	金子 豊貴男	民進党・市民クラブ
33	相模原市議会議員	稲垣 稔	自由民主党相模原市議団
34	相模原市議会議員	岸浪 孝志	民進党・市民クラブ
35	相模原市議会議員	沼倉 孝太	自由民主党相模原市議団
36	相模原市議会議員	米山 定克	公明党相模原市議団
37	相模原市議会議員	松永 千賀子	日本共産党相模原市議団
38	相模原市議会議員	加藤 明徳	公明党相模原市議団
39	相模原市議会議員	須田 毅	自由民主党相模原市議団
40	相模原市議会議員	長谷川 久美子	颯爽の会
41	相模原市議会議員	中村 昌治	自由民主党相模原市議団

No.	議会	氏名	会派
42	相模原市議会議員	小野沢 耕 一	自由民主党相模原市議団
43	相模原市議会議員	江 成 直 士	民進党・市民クラブ
44	相模原市議会議員	栗 原 大	民進党・市民クラブ
45	相模原市議会議員	竹 腰 早 苗	日本共産党相模原市議団
46	相模原市議会議員	栄 裕 明	公明党相模原市議団
47	相模原市議会議員	寺 田 弘 子	自由民主党相模原市議団
48	相模原市議会議員	野 元 好 美	颯爽の会
49	相模原市議会議員	古 内 明	自由民主党相模原市議団
50	相模原市議会議員	森 繁 之	民進党・市民クラブ
51	相模原市議会議員	石 川 将 誠	自由民主党相模原市議団
52	相模原市議会議員	桜 井 はるな	民進党・市民クラブ
53	相模原市議会議員	小 野 弘	自由民主党相模原市議団
54	相模原市議会議員	大 崎 秀 治	公明党相模原市議団
55	相模原市議会議員	久保田 浩 孝	公明党相模原市議団
56	相模原市議会議員	西 家 克 己	公明党相模原市議団
57	相模原市議会議員	関 根 雅吾郎	民進党・市民クラブ
58	相模原市議会議員	臼 井 貴 彦	民進党・市民クラブ
59	相模原市議会議員	五十嵐 千 代	颯爽の会
60	相模原市議会議員	鈴 木 秀 成	民進党・市民クラブ
61	相模原市議会議員	小 田 貴 久	民進党・市民クラブ
62	相模原市議会議員	山 下 伸一郎	日本共産党相模原市議団
63	相模原市議会議員	山 口 美津夫	自由民主党相模原市議団
64	相模原市議会議員	後 田 博 美	公明党相模原市議団
65	相模原市議会議員	渡 部 俊 明	自由民主党相模原市議団
66	相模原市議会議員	宮 崎 雄一郎	自由民主党相模原市議団
67	相模原市議会議員	石 川 達	民進党・市民クラブ
68	相模原市議会議員	小 林 丈 人	民進党・市民クラブ
69	相模原市議会議員	南 波 秀 樹	公明党相模原市議団
70	相模原市議会議員	羽生田 学	日本共産党相模原市議団
71	相模原市議会議員	田 所 健太郎	日本共産党相模原市議団
72	相模原市議会議員	鈴 木 晃 地	颯爽の会
73	厚木市議会議長	越 智 一 久	あつぎみらい
74	厚木市議会副議長	名 切 文 梨	民進党
75	厚木市議会議員	松 田 則 康	あつぎみらい
76	厚木市議会議員	釘 丸 久 子	日本共産党厚木市議員団
77	厚木市議会議員	石 井 芳 隆	新政あつぎ
78	厚木市議会議員	沼 田 幸 一	あつぎみらい
79	厚木市議会議員	田 上 祥 子	公明党
80	厚木市議会議員	高 田 浩	改革あつぎ
81	厚木市議会議員	寺 岡 まゆみ	公明党
82	厚木市議会議員	川 口 仁	公明党
83	厚木市議会議員	神 子 雅 人	あつぎみらい
84	厚木市議会議員	栗 山 香代子	日本共産党厚木市議員団

No.	議会	氏名	会派
85	厚木市議会議員	井上 武	改革あつぎ
86	厚木市議会議員	難波 達哉	あつぎみらい
87	厚木市議会議員	松本 樹影	あつぎみらい
88	厚木市議会議員	渡辺 貞雄	あつぎみらい
89	厚木市議会議員	井上 敏夫	新政あつぎ
90	厚木市議会議員	遠藤 浩一	公明党
91	厚木市議会議員	瀧口 慎太郎	あつぎみらい
92	厚木市議会議員	新井 啓司	新政あつぎ
93	厚木市議会議員	高橋 豊	あつぎみらい
94	厚木市議会議員	新川 勉	新政あつぎ
95	厚木市議会議員	田口 孝男	新政あつぎ
96	厚木市議会議員	山崎 由枝	公明党
97	厚木市議会議員	高橋 知己	新政あつぎ
98	厚木市議会議員	望月 真実	民進党
99	愛川町議会議長	小島 総一郎	みらい絆
100	愛川町議会副議長	熊坂 弘久	愛政クラブ
101	愛川町議会議員	井上 博明	日本共産党愛川町議員団
102	愛川町議会議員	小倉 英嗣	愛政クラブ
103	愛川町議会議員	小林 敬子	日本共産党愛川町議員団
104	愛川町議会議員	馬場 司	愛政クラブ
105	愛川町議会議員	山中 正樹	愛政クラブ
106	愛川町議会議員	井出 一己	公明党
107	愛川町議会議員	渡辺 基	新風あいかわ
108	愛川町議会議員	佐藤 茂	新風あいかわ
109	愛川町議会議員	木下 眞樹子	みらい絆
110	愛川町議会議員	佐藤 りえ	公明党
111	愛川町議会議員	熊坂 崇徳	みらい絆
112	愛川町議会議員	鈴木 信一	日本共産党愛川町議員団
113	愛川町議会議員	岸上 敦子	公明党
114	愛川町議会議員	阿部 隆之	新風あいかわ
115	清川村議会議長	岩澤 敏雄	無所属
116	清川村議会副議長	山本 雅彦	無所属
117	清川村議会議員	藤田 義友	共産党
118	清川村議会議員	落合 圈二	無所属
119	清川村議会議員	川瀬 正行	無所属
120	清川村議会議員	山本 善男	無所属
121	清川村議会議員	村上 俊光	無所属
122	清川村議会議員	笹原 和織	無所属
123	清川村議会議員	細野 洋一	無所属

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

役 職	職 名	氏 名	備 考
顧 問	衆議院議員	小 倉 將 信	自由民主党
顧 問	衆議院議員	赤 間 二 郎	自由民主党
顧 問	衆議院議員	後 藤 祐 一	民進党
顧 問	衆議院議員	義 家 弘 介	自由民主党
顧 問	衆議院議員	本 村 賢太郎	民進党
顧 問	参議院議員	中 川 雅 治	自由民主党
顧 問	参議院議員	小 川 敏 夫	民進党
顧 問	参議院議員	小 泉 昭 男	自由民主党
顧 問	参議院議員	松 沢 成 文	無所属
顧 問	参議院議員	佐々木 さやか	公明党
顧 問	参議院議員	牧 山 弘 恵	民進党
参 与	東京都議会議員副議長	小 磯 善 彦	公明党
参 与	東京都議会議員	吉 原 修	自由民主党
参 与	東京都議会議員	小 磯 明	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	佐々木 正 行	公明党
参 与	神奈川県議会議員	長 友 克 洋	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	寺 崎 雄 介	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	河 本 文 雄	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	細 谷 政 幸	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	八 木 大 二 郎	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	藤 井 克 彦	共産党
参 与	神奈川県議会議員	京 島 圭 子	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	堀 江 則 之	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	佐 藤 知 一	かながわ民進党
参 与	神奈川県議会議員	山 口 貴 裕	自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	馬 場 学 郎	県政会